

# いじめに対する理解を促す動画教材を活用した実践事例（小学校）

いじめに対する理解を促す動画教材（文部科学省）				実践例の概要			
コンテンツタイトル	ストーリータイトル	学ぶタイトル	学校	学年	児童の変容（一例）	実践事例へ	
1	いじめってなに？	ほめたらいやがられたこれっていじめなの？	いじめとは	A校	第2学年	相手とわかり合うことの大切さに気付けるようになった。	▶ P.1
				B校	第3学年	自身の言動を見直そうとすることになった。	▶ P.2
2	みんながやっていることは正しいことなのか	なかまはずれがはじめたあなたならどうする？	みんながしていても正しいとはかぎらない	C校	第4学年	相手の気持ちを考えて行動することの大切さに気付いた。	▶ P.3
3	相手と自分が同じとはかぎらない	相手がおそいと感じたらあなたならどうする？	感じ方は人それぞれ	D校	第3学年	自分の思い込みによる言動に気を付けるようになった。	▶ P.4
4	やられたら、やり返してもいいのか	相手がおしてきたあなたならどうする？	いやなことをされた時は	E校	第2学年	嫌なことをされたとき、言葉で伝えるようになった。	▶ P.5
				F校	第3学年	友達との関わりの中で、自分の言動に気を付けるようになった。	▶ P.6
				G校	第4学年	相手の気持ちを考えた言動が見られるようになった。	▶ P.7
				H校	第4学年	嫌なことをされたら、言葉で伝えることが大切だということを実感していた。	▶ P.8
				I校	第5学年	自分の行動を振り返り、言葉で伝えることの大切さを実感していた。	▶ P.9
5	いかりをコントロールしよう	はらが立ったあなたならどうする？	いかりをコントロールしよう	J校	第6学年	怒りを感じたとき、自分に合った気持ちの落ち着かせ方を見付けていた。	▶ P.10
6	自分の気持ちをつたえよう	友だちにいやなことをされたあなたならどうする？	がまんしないで つたえよう	K校	第5学年	嫌な思いをしたとき、素直に相談できる児童が増えた。	▶ P.11
7	まちがいをみとめてあやまる	悪口を言ってしまったあなたならどうする？	相手をきずつけてしまったら	L校	第3学年	自分の言動に気を付けようとする意識が高まった。	▶ P.12
8	自分はぜったい悪くない	ろうかでぶつかったあなたならどうする？	自分のシンキングエラーに気づこう	M校	第4・5学年	相手の気持ちを考えることを意識して行動する児童が増えた。	▶ P.13
				N校	第5学年	相手の気持ちを考えて行動することが大切だと実感していた。	▶ P.14
9	他の人のしっばいをせめてもいいのか	ともだちがしっばいしたあなたならどうする？	相手の気持ちも考えてみよう	O校	第6学年	他者の失敗に気付いたとき、相手のことを受け入れる発言をするようになった。	▶ P.15

## 子どもの状況

【学年】 第2学年

【目指す子どもの姿】

・相手の気持ちを考え、仲良く協力し合える子ども

【学級の状況】

・いじめの把握のためのアンケート調査では、「嫌な思いをしている」と回答した児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 いじめってなに？



【QRコード】

「ほめたらいやがられた これっていじめなの？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「相手が嫌だったらやめることが大切である」ことに気付かせるため、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 自分が気付かずに相手を傷付けてしまった経験について振り返り、今後の自分の行動について考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、具体の場面を理解したことにより、友達との関わりの中で、**自分が発する言葉に気を付けようとする様子が見られた。**
- 授業の振り返りの場面において、授業中や休み時間など、様々な場面で、自分が嫌だと感じた時には、素直に伝え、**相手とわかり合うことが大切だという意見が多く聞かれた。**



## 子どもの状況

【学年】 第3学年

【目指す子どもの姿】

- ・相手意識をもち、自分の気持ちだけでなく相手の気持ちを考え行動する子ども

【学級の状況】

- ・児童は「いじめはよくない」という思いをもっているが、日常生活で実践できていない児童が見られる。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 いじめってなに？



【QRコード】

「ほめたらいやがられた これっていじめなの？」

## 動画を活用する際のポイント

- 本動画を活用し、どのような行為がいじめにあたるのか確認させた。
- 動画を視聴させ、いじめが与える具体的な影響を知らせるとともに、日常生活で相手の気持ちを尊重することの大切さについて考えさせた。
- 動画を視聴させ、考えたことをこれからの日常生活でどのように生かすのか、それぞれの考えを交流させた。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、いじめの定義について改めて確認したことにより、児童は**日常の言動について振り返り、言動を見直そうとする様子が見られた。**
- 動画を見て、「自分がいやなことは、相手もいやだと感じる」など、**児童は相手の気持ちを考えて行動することの大切さについて再確認し、気を付けようとする様子が見られるようになった。**



## 子どもの状況

【学年】 第4学年

【目指す子どもの姿】

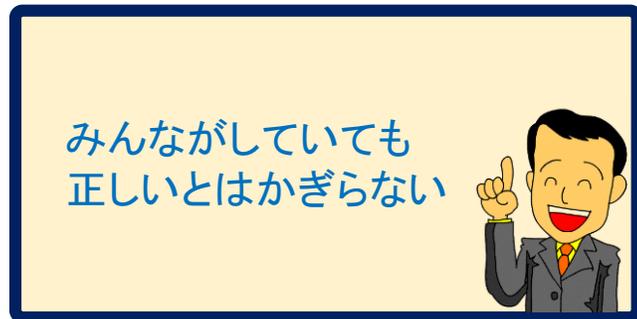
・周りの意見に流されず善悪の判断ができる子ども

【学級の状況】

・自分の意見に自信がもてず、「友達がしているから」という理由で行動する子どもが多い。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 みんながやっていることは正しいことなのか



【QRコード】

「なかまはずれがはじまった あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「友達の意見に流されず、相手が嫌がる行為をしない」という心情を深めるために、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 日常的に「友達がしているから」という理由で行動してしまった経験について振り返るとともに、「もし自分がいじめられる側だったら」という視点で話し合うなど、今後の自分の行動について考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、具体の場面を理解できたことにより、いじめについての認識が深まるとともに、**相手の気持ちを考えて行動することの大切さに気付く様子が見られた。**
- 振り返りの場面において、他人と違う意見を出すことに躊躇することもあるが、周りの意見に流されたり、教師や大人に任せたりするのではなく、嫌な思いをしている人の気持ちを考え、**自分自身で善悪を判断することが大切という意見が多く聞かれた。**



## 子どもの状況

【学年】 第3学年

【目指す子どもの姿】

- ・相手のことを理解し、自分と異なる考えを大切にできる子ども

【学級の状況】

- ・自分の思い込みでの発言や行動が散見される。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 相手と自分が同じとはかぎらない



【QRコード】

「相手がおそいと感じたら あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「自分の考えと相手の考えの違いを想像することが大切である」ことに気付かせるため、本動画を活用し、自分事として子どもに具体的な場面を想起させた。
- 自分の思い込みによって相手を傷つけてしまう場面について振り返らせ、自分と異なる考えを大切にし、相手のことを理解しようとする大切さについて考えさせた。



## 指導後の子どもたちの変容

- 学級の実態に近い動画の内容であったため、自分事として考えている振り返りの記述が多く見られた。
- 振り返りの記述から、自分の思い込みが相手を傷つけてしまうことに気付いたり、自分の思い込みによる発言や行動を抑制しようとしたりする子どもの姿が見られた。



## 子どもの状況

【学年】 第2学年

【目指す子どもの姿】

・相手の気持ちを考え、自分も相手も大切にできる子ども

【学級の状況】

・いじめの把握のためのアンケート調査では、「嫌な思いをしている」と回答した児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 やられたらやり返してもいいのか



【QRコード】

「相手がおしてきた あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「嫌なことをされた時、その気持ちをしっかりと伝えることの大切さ」に気付かせるため、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 誤った方法で、気持ちを伝えていた経験や、気付かずに相手を傷付けてしまった経験について振り返り、今後の自分の行動について考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、具体の場面を理解できたことや学級で交流できたことにより、友達との関わりの中で、嫌なことをされた時、**言葉で伝えようとする様子が見られた。**
- 授業中や休み時間など様々な場面で、自分が嫌だと感じた時には素直に伝え、言われた方も、相手の気持ちを考え、**相手が嫌だと思ふ言動を素直にやめることが大切だと考えている様子が見られた。**
- 相手に自分の気持ちを伝えることの大切さを知り、過去の出来事で、もやもやしている気持ちを相手に伝えることができた子がいた。

## 子どもの状況

【学年】 第3学年

【目指す子どもの姿】

・相手の気持ちを考え、言葉で伝えることができる子ども

【学級の状況】

・日常生活において、相手の気持ちを考えない言動によるトラブルがあった。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 やられたらやり返してもいいのか



【QRコード】

「相手がおしてきた あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「相手の気持ちを考え、言葉で伝えることが大切である」ことに気付かせるため、本動画を活用し、児童に自分の行動を振り返らせた。
- 今後、動画教材と同じような場面に遭遇したとき、どのような行動をとったらよいか考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を視聴し、具体的な場面に基づいて自分の行動を振り返ったことにより、**友達との関わりの中で、自分が発する言葉や行動に気を付けようとする様子が見られた。**
- 振り返りの場面において、授業中や休み時間等、様々な場面において、どのように言葉で伝えたり、行動したりすればよいか **がわかったという声が多く聞かれた。**



## 子どもの状況

【学年】 第4学年

【目指す子どもの姿】

- ・互いに譲り合いや思いやりの気持ちをもつことができる子ども

【学級の状況】

- ・児童同士が、互いに強い口調で相手を非難してしまう場面が多く見られる。
- ・教師による一回の説明や注意では、児童に話が伝わらない場合がある。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 やられたらやり返してもいいのか



【QRコード】

「相手がおしてきた あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 相手から嫌なことをされた際の、適切な行動とはどのようなものかを気付かせるため、本動画を活用し、「ほかによい方法はないか」について、具体的に考える場面を設定した。
- 児童が、自分の行動について素直に事実を認め、よくなかったことを振り返ることで、互いに気持ちよく解決できることに気付かせるとともに、グループで「やり返すことは正しいか」について、話し合う活動を設定した。

## 指導後の子どもたちの変容

- 本動画を活用し、相手から嫌なことをされた際の適切な対応や、言葉で注意された人の気持ちを考えさせたことにより、児童同士のトラブルが起こった際、**互いによくなかったことを振り返る様子が見られた。**
- グループで、「やり返すことは正しいか」について、それぞれの考えを交流する活動を行ったことにより、児童は、注意されたことを素直に受け止め、行動に移そうとするなど、**相手の気持ちを考えた言動が見られるようになった。**



## 子どもの状況

【学年】 第4学年

【目指す子どもの姿】

- ・人の痛みが分かり、集団生活の中で互いを思いやりながら生活できる子

【学級の状況】

- ・いじめの把握のためのアンケート調査では、「嫌な思いをしている」と回答した児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 やられたらやり返してもいいのか



【QRコード】

「相手がおしてきた あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「やり返すことは、よい結果につながらない」ということを気付かせることができるよう、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 嫌なことをされた時の自分の行動を振り返り、今後、嫌なことをされた場合、どうするとよいかについて考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 具体的な場面を想起しながら、理解を深めることができたことにより、友だちとの関わりの中で、嫌なことをされた時に、やり返すことはよくないことだと気づき、落ち着いて対応しようとする様子が見られた。
- 授業の振り返りの場面において、授業中や休み時間等の学校生活で、嫌なことや間違った行為をされたら、**言葉で伝えることが大切だ**という意見が多く聞かれるなど、**よい行動について考える様子**が見られた。



## 子どもの状況

【学年】 第5学年

【目指す子どもの姿】

- ・言葉で伝えることの大切さを理解している子ども

【学級の状況】

- ・認知したいじめの態様で「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」と訴えた児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【いじめをなくそう】 やられたらやり返してもいいのか



【QRコード】

「相手がおしてきた あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「自分の気持ちや思いは、言葉で伝えることが大切である」ことに気付かせるため、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 日常の学校生活の中で、同じような場面を経験したことがあるかなど、より具体的に自分の行動を振り返らせ、ロールプレイなどを通じて自分の行動について考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、具体の場面を想起できたことにより、自分の行動を振り返り、言葉で伝えることの大切さを再確認する様子が見られた。
- 動画視聴後に自分の行動を見つめ直し、今後とるべき行動を友達と交流する様子が見られ、日常の学校生活におけるトラブルも減少するなど、**道徳的実践力の高まりが見られた。**



## 子どもの状況

【学年】 第6学年

【目指す子どもの姿】

- ・相手の気持ちを考え、自分の考えを表現できる子ども

【学級の状況】

- ・事前のアンケート調査では、「怒りをコントロールできなかった経験がある」と回答した児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【ともだちづきあい】 いかりをコントロールしよう



【QRコード】

「はらが立った あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 腹が立つことは、誰にでも起こりうることを確認し、自分の怒りをコントロールすることが大切であることに気付かせるため、本動画を活用し、腹が立った時の怒りを鎮める方法について理解できる場面を設定した。
- 怒りをコントロールする方法を基に、自分に合った怒りの感情を鎮める方法を知り、練習する場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、腹が立った時の怒りを鎮める方法を理解したことにより、友達との関わりの中で、怒りをコントロールしようとする様子が見られた。
- 授業の振り返りの場面において、今後の日常生活において腹が立った際「深呼吸をする」「その場から離れて歩く」など、自分に合った方法を実践したいという意見が多く聞かれた。



## 子どもの状況

【学年】 第5学年

【目指す子どもの姿】

・相手の気持ちを考え、自分の気持ちを伝える子ども

【学級の状況】

- ・ある児童が暴言を吐いたとき、報復を恐れ、我慢している児童が数名いた。
- ・いじめの把握のためのアンケート調査では、「嫌な思いをしている」と回答した児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【いじめられたとき】 自分の気持ちをつたえよう



【QRコード】

「友だちにいやなことをされた あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 「気付かないうちに相手が傷付いているかもしれない」ことに気付かせるため、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 自分が気付かずに相手を傷付けてしまった経験や、我慢することにより嫌なことが続いてしまったり、違う児童も嫌な思いをしてしまうことがあることを考え、今後の自分の行動について振り返る場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、具体の場面を理解できたことにより、友達との関わりの中で、**友達がどのように思っているかを考えて行動しようとする様子が見られた。**
- 授業の振り返りの場面において、授業中や休み時間など、様々な場面で、自分が嫌だと感じた時には、素直に伝えるという意見が多く聞かれた。
- 教育相談において、**友達から嫌なことをされたことについて、素直に相談する児童が増えた。**

## 子どもの状況

【学年】 第3学年

【目指す子どもの姿】

- ・悪いことをしたときに素直に認め正直に謝る子ども

【学級の状況】

- ・素直に謝ることができた経験が少ない子が多い。
- ・友人関係の件で、「子どもの人権SOSミニレター」を投函し相談した児童がいる。

## 活用した映像教材

【シンキングエラー】 まちがいをもとめて あやまる



【QRコード】

「悪口を言ってしまった あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 動画を通して事例を俯瞰してみるにより、間違いを認められない姿がよくないと気付くことができる場面を設定した。
- 動画視聴後、なぜシンキングエラーが起きているのか話し合う場面を設定した。
- シンキングエラーが起きた場合を想像し、具体的な対処の方法を考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画視聴後、シンキングエラーの具体的な場面を示し、なぜこうしたことが起こるのかを理解できたことにより、自分なりの対処の仕方について考える経験を積むとともに、**日常的に言動に気を付けようとする意識が高まった様子が見られた。**
- 授業の振り返りの場面において、間違いに気付いたら正直に謝るようにしたいという意見が多く見られた。



## 子どもの状況

【学年】 第4・5学年

【目指す子どもの姿】

- ・相手の気持ちを考えて優しく接し、仲良く協力し合える子ども

【学級の状況】

- ・意見が互いに異なった際や自分の思い通りにならない際に、感情的になってしまう児童が複数名いた。

## 活用した映像教材

【シンキングエラー】 自分はぜったい悪くない



【QRコード】

「ろうかでぶつかった あなたならどうする？」

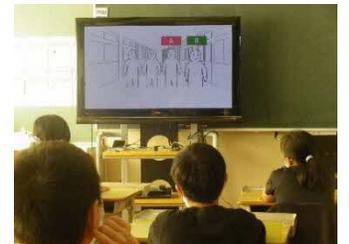
## 動画を活用する際のポイント

- 「相手を傷付ける行為をしてしまったときは、自分の間違いを認め、謝ることも大切である」ことに気付かせるため、本動画を活用し、児童に具体的な場面を想起させた。
- 自分の行動を顧みずに、他人のせいにしてしまった経験はないか、自らの日常生活における「シンキングエラー」を振り返り、今後の自分の行動について考える場面を設定した。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、日常生活における誰にでも起きそうな場面を具体的に想起したことにより、自身がシンキングエラーを起こした経験を振り返るなど、自分事として捉える様子が見られた。
- 授業の振り返りの場面において、**考えてから言葉を発することが大切であること、人の気持ちを考えて生活することが大切であることなどを意識して行動する児童が多く見られた。**



## 子どもの状況

【学年】 第5学年

【目指す子どもの姿】

・相手の気持ちを理解し、行動できる子ども

【学級の状況】

・自分の気持ちを周囲に伝えるのが苦手で、受け身な児童が多い。

## 活用した映像教材

【シンキングエラー】 自分はぜったい悪くない



【QRコード】

「ろうかでぶつかった あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- ろうかでぶつかったときに、「自分に原因がないか」と考えたり、「ルールを守れていたか」を振り返らせたりする。
- きまりがあることは分かっているが守れなかった経験を振り返り、今後の自分の行動について考える場面を設定する。



## 指導後の子どもたちの変容

- 動画を見て、日常生活でありそうな場面を想起できたことにより、自分のまちがった考えや行動について気付いたり振り返ったりする様子が見られた。
- 授業の振り返りの場面において、「みんなが安心できるようにするためには、相手の気持ちを考えて行動することが大切だ」という意見が多く聞かれた。



## 子どもの状況

【学年】 第6学年

【目指す子どもの姿】

- ・相手の気持ちを考え、思いやりをもった言動ができる子ども

【学級の状況】

- ・他者を傷付ける発言をする様子が時々見られた。
- ・自分の行動を客観的に捉えることが難しい児童が数名いた。

## 活用した映像教材

【シンキングエラー】 他の人のしっばいを  
せめてもいいのか



【QRコード】

「ともだちがしっばいした あなたならどうする？」

## 動画を活用する際のポイント

- 相手の行動が間違っていると思った時に、相手を非難したくなる感情は誰にでも起こり得るものであることを説明した上で、本動画を活用し、適切な対応の仕方について考える場面を設定した。
- 「相手が間違った行動をしていたら、きつい言い方をしたり責めたりしてもよい」というシンキングエラーは、いじめにつながるということを、本動画の内容を基に想起させるなど、児童が考える場面を意図的に設定した。

## 指導後の子どもたちの変容

- 動画の視聴を通して、いじめにつながる具体的な場面について理解したことにより、シンキングエラーに気が付いた際には、相手のことを受け入れる発言をする様子が見られるようになった。
- 授業後の学級において、思いやりをもった言動をしたり、相手の言動について、学級全体で認め合ったりする場面が多く見られるようになった。

